

平成27年度第1回二宮町下水道運営審議会次第

日 時 平成27年7月28日(火)

午前10時00分～

場 所 町民センター 2Bクラブ室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 平成27年度二宮町下水道事業の工事概要等について・・・資料1

(2) 下水道使用料について

・平成27年度下水道事業予算状況について・・・・・・・・資料2

・下水道事業経営の基本的な考え方・・・・・・・・資料3

・下水道使用料対象経費について・・・・・・・・資料4

(3) その他

4 閉 会

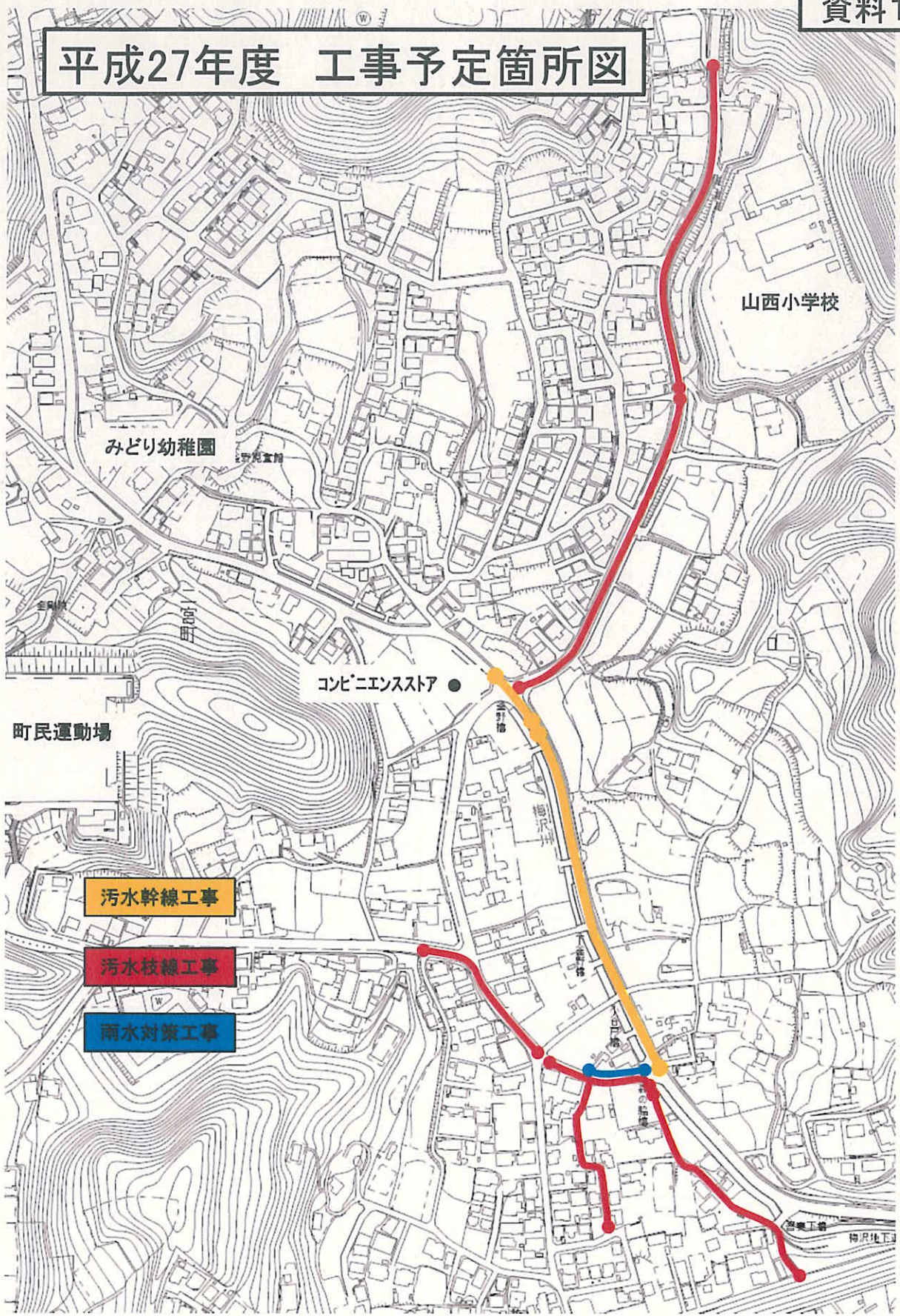
二宮町下水道運営審議会委員名簿

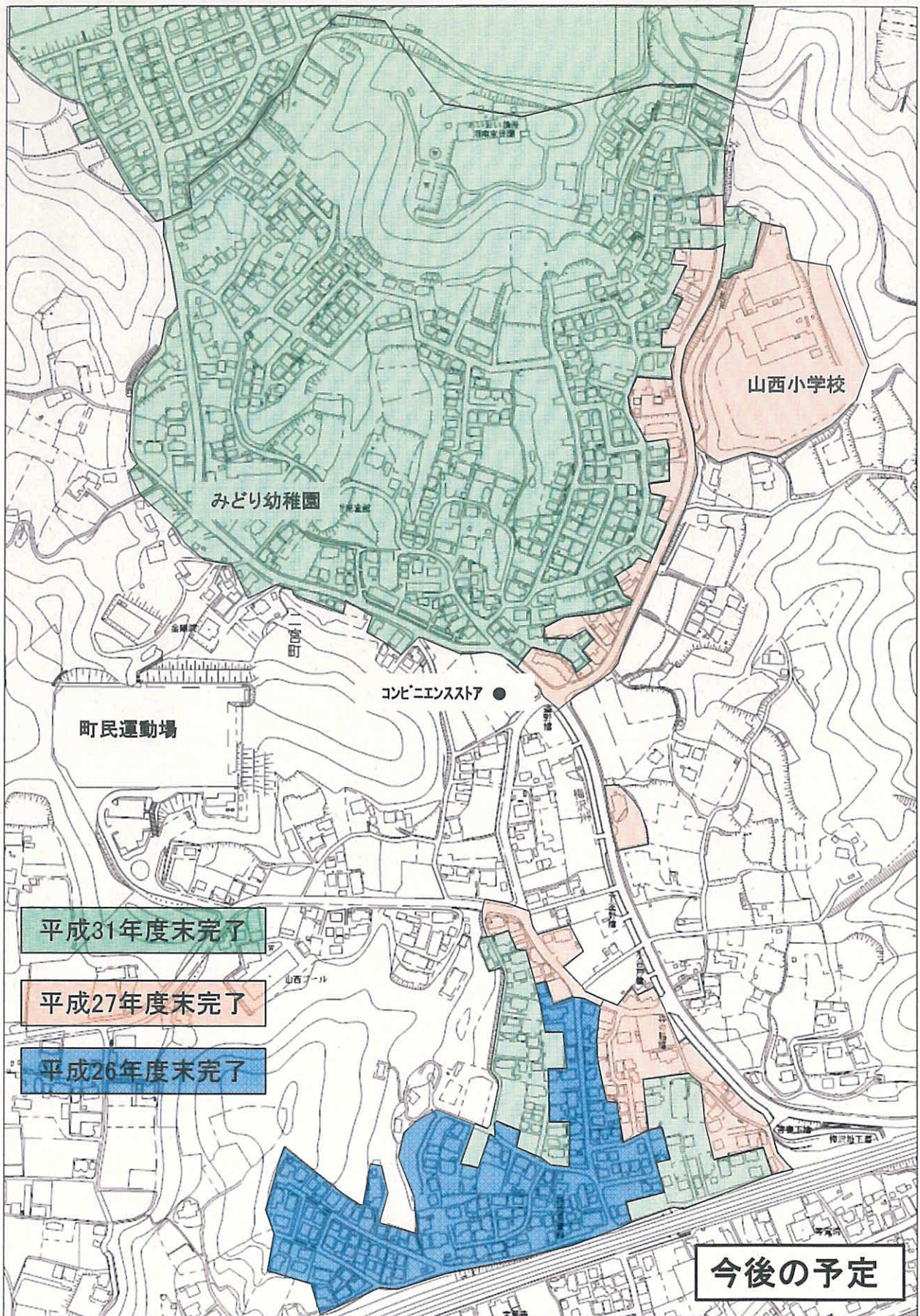
平成27年4月現在

No	氏名	地区	備考	任期
1	桑原 英俊	—	議会議員	平成28年3月31日
2	井上 良光	— 色	学識経験者	平成28年3月31日
3	黒木 勇	富士見が丘	学識経験者	平成28年3月31日
4	菊田 稔	—	学識経験者(県企業庁平塚水道営業所長)	平成28年3月31日
5	海野 淳	—	学識経験者(県下水道公社業務部長)	平成28年3月31日
6	松尾 武保	富士見が丘	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
7	添田 米美	元町北	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
8	村田 耕一郎	越地	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
9	市来 裕子	緑が丘	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
10	越地 祐佳	百合が丘	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
11	土谷 美智代	元町南	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日

※順不同

平成27年度 工事予定箇所図





平成27年度下水道事業予算状況について

平成27年度下水道事業特別会計における歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ10億3,072万2千円で、前年の歳入歳出予算額、10億12万8千円に対し3,059万4千円、3.1%の増となります。

歳入においては、総収入金額の4割近くを繰入金で占めており、歳出では総支出額の約5割近くを町債の償還元金及び償還利子で占めています。

【歳入】**1. 分担金・負担金**

分担金・負担金は、下水道整備により受益を受ける土地の所有者に対し、整備費用の一部として賦課しているもので、整備量に応じて受益面積が変化するため、賦課額は毎年増減します。

平成27年度の分担金・負担金の総収入額に占める割合は1.6%で、前年に比べ0.1%の増となります。

分担金・負担金は、整備費用の一部として賦課しており、収入額の92.7%を公共下水道整備事業に、賦課徴収に係る経費として下水道運営経費に7.3%を充当します。

2. 下水道使用料

下水道使用料は、原則上水道使用水量を下水道への排水量とみなし、2か月間の上水道使用水量に対し条例で定める算定方法により算定した額を、2か月毎に「上下水道料金一括納付制度」により水道料金と一括で水道局が収納したのち、下水道使用料分が水道局から町へ収納されます。

平成27年度の使用料については、2億4,228万5千円を見込んでおり、前年度の予算額2億3,753万に対して475万5千円の増となります。総収入に占める割合は27年度23.5%となりますが前年に比べ0.2%減となります。

下水道使用料の充当先ですが、下水道事業は、独立採算制の原則に基づき下水道使用料により運営することになっているため、使用料収入額の56%にあたる1億3,578万7千円を下水道施設管理経費に、37.5%にあたる9,084万1千円を町債償還元金に、6%にあたる1,449万7千円を下水道運営経費に、残り0.5%にあたる116万円を一般経費に充当します。

3. 手数料

この手数料は、排水設備指定工事店及び在籍する責任技術者の登録及び更新に係るもので、総収入額に占める割合は、0.05%で前年と比べ0.01%減となります。この収入額は全額を一般経費に充当します。

4. 国庫補助金（交付金）

この補助金（交付金）は、補助対象の委託料・工事費に係るもので、平成27年度の総収入額に占める割合は12.6%で、前年比1.6%の増となります。

この収入は、公共下水道整備事業に対するものであるため、全額を公共下水道整備事業に充当します。

5. 起債（借入金）

起債については、公共下水道整備事業（工事等）のうち分担金及び負担金、補助金等の特定財源を差引いた残額に対し借入するものです。

平成27年度の起債額は、総収入額に占める割合が21%となり、前年比に対し3.3%の減となります。

この起債額は、公共下水道整備事業に66.5%、町債償還元金に31%、酒匂川流域下水道事業に2.5%の充当となります。

6. 一般財源

一般財源については、一般会計からの繰入金及び繰越金、諸収入の合計額で、総収入額に占める割合は、41.2%で前年比1.8%の増となります。

内訳ですが、繰入金が4億1,012万4千円で前年の3億8,130万9千円に対し2,881万5千円の増となります。総収入に対する割合は39.8%で前年の38.1%に対し1.7%の増となり総収入額の中で大きなウエイトを占めています。また、繰越金は1,500万円で前年に対し400万円の増、諸収入が5千円で前年に対し220万7千円の減となります。

一般財源としての充当先は、起債元金の返済に係る町債償還元金に48.5%、起債の利子に係る町債償還利子に34.3%で、その他一般経費に12.6%、下水道運営経費に1%、公共下水道整備工事及び酒匂川流域下水道事業に3.4%を充当します。

【歳出】

1. 一般経費・運営経費

一般経費と下水道運営経費の合計額で総支出額の7.3%を占めています。昨年と比較し0.4%の減となります。

① 一般経費

職員の給与や諸手当・出張旅費などで、総支出額に占める割合は5.4%で昨年に対し0.4%の減となります。

財源の内訳としては、使用料収入の0.5%及び手数料収入全額と一般財源の12.6%を充てています。

② 下水道運営経費

分担金・負担金等の賦課徴収に係る経費や上下水道料金一括納付委託料、各種団体負担金及び消費税などの事務的経費で、総支出額に占める割合は昨年と同じ1.9%となります。

財源の内訳としては、分担金・負担金収入の7.3%、使用料収入の6%及び一般財源の1%を充てています。

2. 維持管理経費

「下水道施設管理経費」で、マンホールポンプ保守点検委託や下水道台帳整備委託及び酒匂川流域下水道維持管理負担金など下水道施設に係る管理経費で、総支出額に占める割合は13.2%で昨年に比べ1.3%の増となります。

財源の内訳としては、下水道使用料の56%、1億3,578万7千円（維持管理経費と同額）を充てています。

3. 整備費

公共下水道整備事業と酒匂川流域下水道事業の合計額で、総支出額に対する割合は30%で昨年に比べ0.6%の減となります。

① 公共下水道整備事業

実施設計委託や汚水枝線及び汚水幹線整備工事、雨水対策工事などに係る経費で、総支出額に占める割合は29.5%で昨年に比べ1.1%の減となります。

財源の内訳としては、国庫補助金の収入額全額、分担金・負担金収入額の92.7%、起債の66.5%、一般財源の3.4%を充てています。

② 酒匂川流域下水道事業

酒匂川流域下水道建設事業に係る市町負担分を関連市町の計画汚水量で按分して負担するもので、過去の建設事業に係る計画精算額と調整をしており、総支出額に対する割合は0.5%で、昨年に比べ0.45%増となっています。

財源の内訳としては、起債の2.5%及び一般財源の0.02%を充てています。

4. 資本費

町債償還元金と町債償還利子の合計額で、総支出額の49.4%で総支出額の約の半数を占めています。

① 町債償還元金

過去に借入れた起債額のうち据置期間を経過した起債の償還をするもので、総支出額の35.3%となり、前年に対して0.9%の増となります。

財源の内訳としては、下水道使用料の37.5%にあたる9,084万1千円と起債額の31%及び一般財源の48.5%を充てており、前年に対し使用料がマイナス1,186万3千円で5.7%の減、起債額が3.8%、一般経費が4%の増となっています。

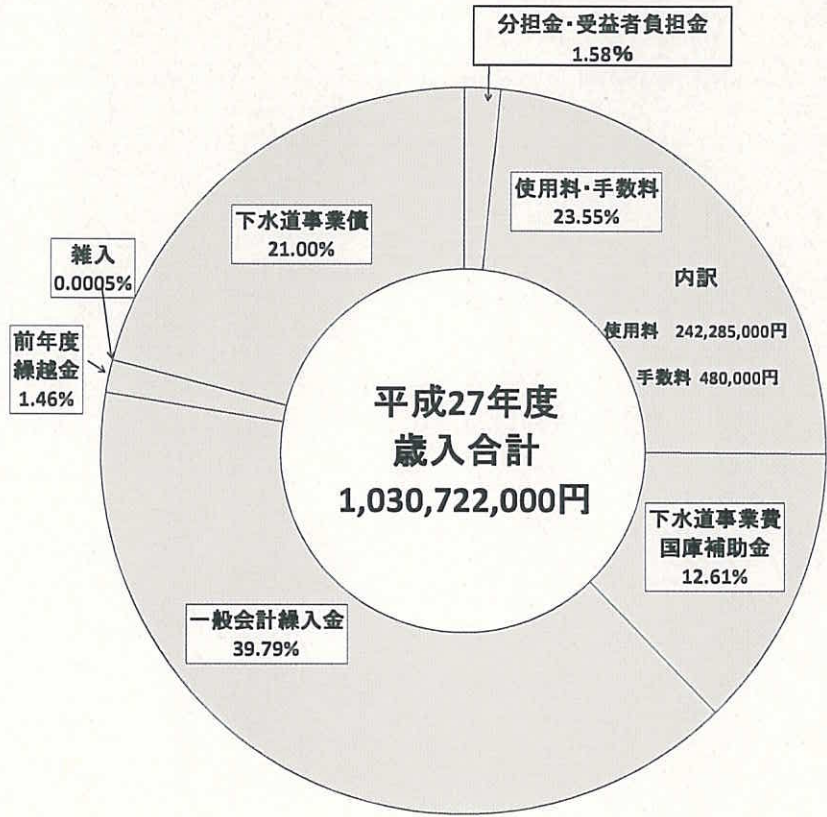
② 町債償還利子

借入れた起債額に係る利子の支払いをするもので、総支出額の14.1%で、昨年に対し1.1%の減となります。

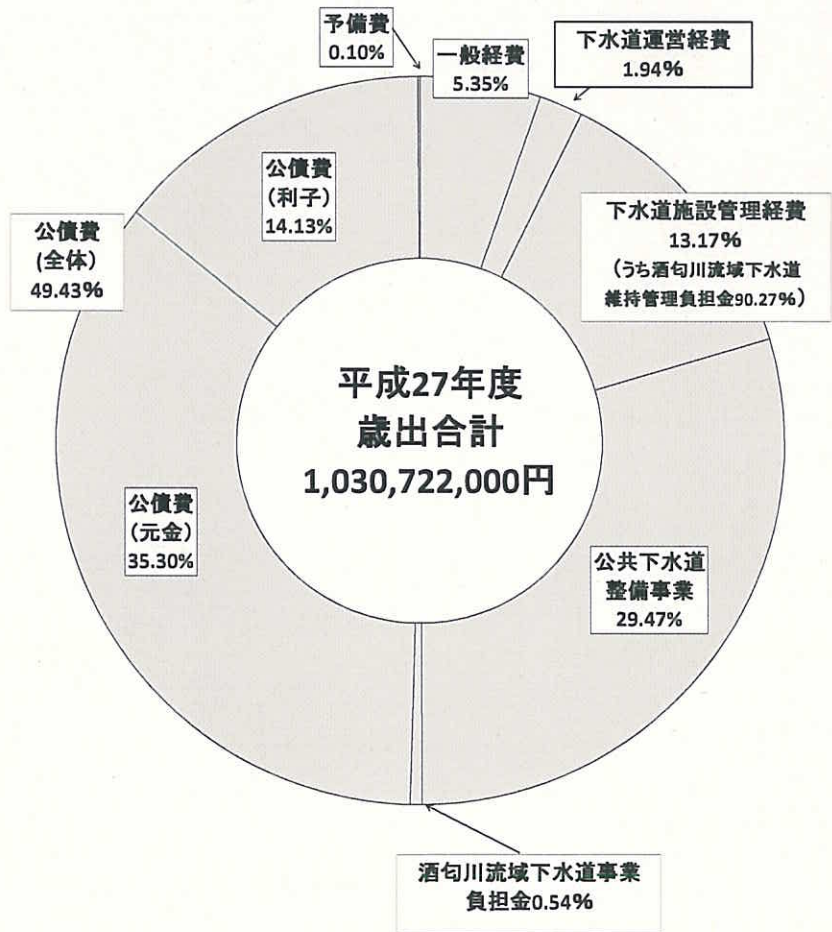
財源の内訳としては、一般財源の34.3%を充てており昨年に対し4.3%の減となっています。

平成27年度下水道事業特別会計の予算状況(当初)

平成27年度歳入	
分担金 受益者負担金	16,328,000円
使用料・手数料	242,765,000円
下水道事業費 国庫補助金	130,000,000円
一般会計繰入金	410,124,000円
前年度繰越金	15,000,000円
雑入	5,000円
下水道事業債	216,500,000円
歳入合計	1,030,722,000円



平成27年度歳出	
一般経費	55,132,000円
下水道運営経費	20,022,000円
下水道施設 管理経費	135,787,000円
公共下水道 整備事業	303,773,000円
酒匂川流域下水道 事業負担金	5,575,000円
公債費(元金)	363,797,000円
公債費(利子)	145,636,000円
予備費	1,000,000円
歳出合計	1,030,722,000円



区分	金額
歳入合計	1,030,722,000円
歳出合計	1,030,722,000円
翌年度繰越金	0円

平成27年度 下水道事業における歳入の充当関係 (予算ベース)

【歳入】

科目	金額 (千円)	構成比 (%)	充当先 (予算事業名)	充当額 (千円)	充当率 (%)
分(負)担金	16,328	1.6	下水道運営経費	1,193	7.3
			公共下水道整備事業	15,135	92.7
下水道使用料	242,285	23.5	一般経費	1,160	0.5
			下水道運営経費	14,497	6.0
			下水道施設管理経費	135,787	56.0
			町債償還元金	90,841	37.5
手数料	480	0.1	一般経費	480	100.0
国庫補助金	130,000	12.6	公共下水道整備事業	130,000	100.0
一般財源 (繰入金等)	425,129	41.2	一般経費	53,492	12.6
			下水道運営経費	4,332	1.0
			公共下水道整備事業	14,638	3.4
			酒匂川流域下水道事業	75	0.0
			町債償還元金	205,956	48.4
			町債償還利子	145,636	34.3
			予備費	1,000	0.2
町債 (起債)	216,500	21.0	公共下水道整備事業	144,000	66.5
			酒匂川流域下水道事業	5,500	2.5
			町債償還元金	67,000	30.9
(繰入金)	410,124	39.8			
(繰越金)	15,000	1.5			
(諸収入)	5	0.002			

歳入合計	1,030,722	100.0	充当合計	1,030,722	100.0
------	-----------	-------	------	-----------	-------

【歳出】

区分	金額 (千円)	構成比 (%)	事業名	予算額 (千円)
一般経費・運営経費	75,154	7.3	一般経費	55,132
			下水道運営経費	20,022
維持管理費	135,787	13.2	下水道施設管理経費	135,787
整備費	309,348	30.0	公共下水道整備事業	303,773
			酒匂川流域下水道事業	5,575
資本費 (公債費)	509,433	49.4	町債償還元金	363,797
			町債償還利子	145,636
予備費	1,000	0.1	予備費	1,000

歳出合計	1,030,722	100.0	合計	1,030,722
------	-----------	-------	----	-----------

下水道事業経営の基本的な考え方

下水道事業は、地方財政法により公営企業として位置づけられ、維持運営に係る経費はその事業経営に伴う収入、すなわち下水道使用料をもって充てなければならないという独立採算制を原則とする事業です。

当町では、平成4年度に下水道事業特別会計を設置し、国庫補助金や起債などを財源として整備普及に努めてきています。また、平成11年度の供用開始以降、維持管理費や起債償還費の確保のために自主財源として下水道使用料を設けていますが、不足財源を一般会計からの繰入金で充当してきています。その後、下水道事業の経営安定化を図るため、平成21年度に8%、平成24年度に平均20.4%増の使用料改定を行いました。

平成26年度決算見込における下水道使用料収入は約2億3千4百万円となり、歳入総額の23.8%を占め、使用料で賄うことになっている維持管理費は賄えていますが、元利償還金の不足財源を、一般会計からの繰入金で補っている状況は続いています。

下水道は、快適な生活環境と公共用水域の水質保全を図るための基本的な施設です。

下水道事業は初期投資が大きいため財源不足が生じやすい事業ですが、中長期的に自立・安定した経営基盤を築く必要があるため、経費の節減等の経営努力と水洗化率向上を図り、使用者(受益者)に適正な負担を求めつつ、一般会計への依存を極力少なくし、経営の健全化・安定化を図っていく必要があります。

下水道特別会計の財政状況

(単位:千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (見込)	26年度 構成比	
歳入	分担金及び負担金	42,923	26,751	34,924	13,245	15,674	1.6%
	使用料及び手数料	177,693	183,035	216,513	232,240	235,212	24.0%
	国庫支出金	121,600	90,000	70,700	95,800	114,000	11.6%
	県支出金	5,909	0	0	0	0	0.0%
	繰入金	332,292	342,124	343,038	365,628	379,821	38.7%
	繰越金	30,388	24,524	17,707	19,123	14,834	1.5%
	諸収入	0	19	0	6,278	2,812	0.3%
	町債	231,000	167,100	152,400	176,500	219,200	22.3%
	計 ①	941,805	833,553	835,282	908,814	981,553	100.0%
歳出	一般経費	56,819	58,538	56,011	56,350	55,833	5.8%
	下水道運営経費	19,485	16,280	20,480	20,156	17,615	1.8%
	施設管理経費	90,059	88,881	96,587	105,627	108,540	11.2%
	公共下水道事業費	307,387	204,896	178,840	235,137	289,275	29.9%
	流域下水道事業費	13,357	11,368	8,083	294	465	0.05%
	町債償還元金	259,228	267,800	292,839	319,474	344,217	35.6%
	町債償還利子	170,947	168,084	163,318	156,943	150,465	15.6%
	予備費	0	0	0	0	0	0.0%
	計 ②	917,281	815,846	816,158	893,980	966,411	100.0%
① - ②	24,524	17,707	19,123	14,834	15,142	—	

下水道使用料対象経費について

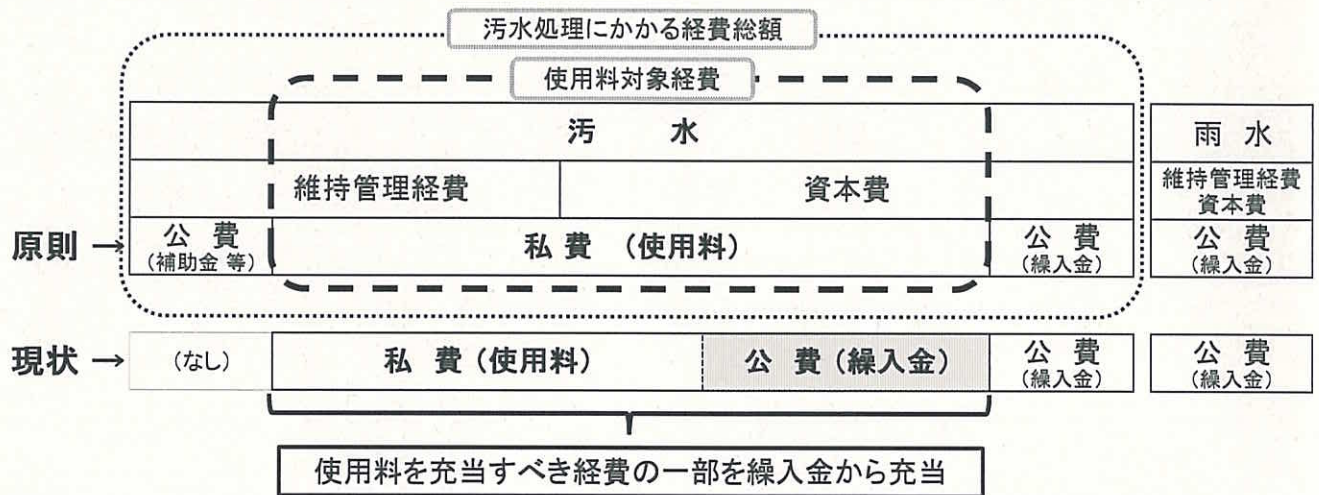
◎ 公費と私費の負担区分

雨水に係るものは公費で、汚水に係るものは私費で負担するものとする（雨水公費、汚水私費の原則）

ただし、下水道の公共的役割を鑑み、汚水費用のうち、一定のものが公費負担となります。（繰出基準）

◎ 下水道使用料対象経費

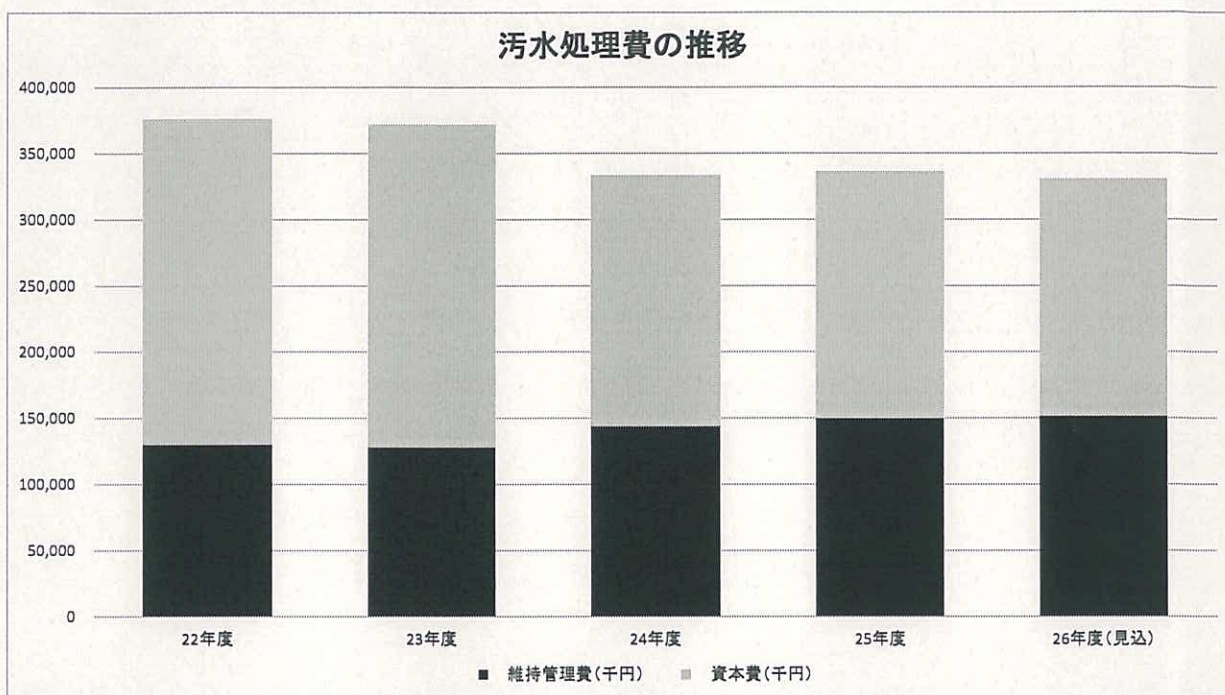
公費で負担すべきものを除いた維持管理に係る経費と資本費（元利償還金）



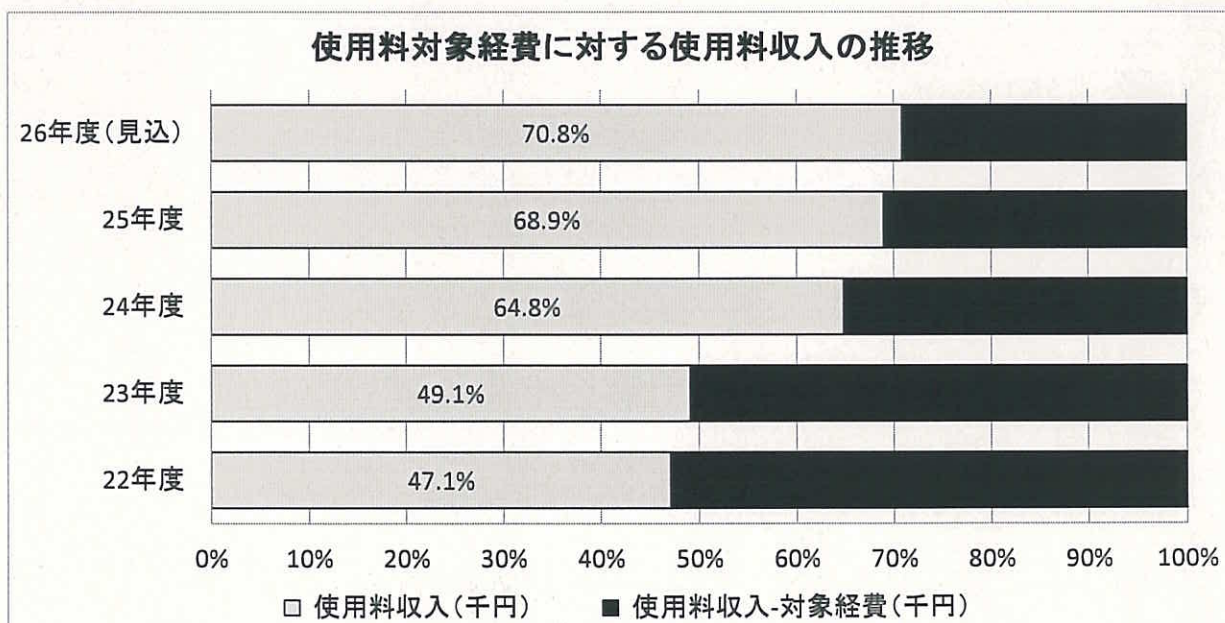
部分が汚水に係る経費の総計

部分が、受益者負担の原則に基づき、理論上の使用料対象経費となります。

下水道使用料対象経費の推移



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度(見込)
汚水処理費合計(千円)	376,211	371,861	333,407	336,166	330,715
資本費(千円)	246,240	243,879	189,534	186,446	179,218
維持管理費(千円)	129,971	127,982	143,873	149,720	151,497



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度(見込)
使用料対象経費(千円)	376,211	371,861	333,407	336,166	330,715
使用料収入(千円)	177,169	182,516	216,172	231,768	234,303
使用料収入-対象経費(千円)	199,042	189,345	117,235	104,398	96,412
経費回収率	47.1%	49.1%	64.8%	68.9%	70.8%
一般会計繰入金(千円)	332,292	342,124	343,038	365,628	379,821

年間有収水量・使用料収入の推移

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (見込)
年間有収水量(千 m^3) ①	1,640	1,686	1,746	1,772	1,752
使用料収入(税込)(千円) ②	177,169	182,516	216,172	231,768	234,303

汚水処理費の推移(地方公営企業決算状況調査の各年度の抜粋)

(税込・単位:千円)

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (見込)	
使用料対象経費	維持管理費	管渠費 ③	11,990	12,340	12,247	10,028	9,635
		直接的 ポンプ場費 ④	0	0	0	0	0
		処理場費 ⑤	0	0	0	0	0
	間接的 経費	業務費 ⑥	40,422	38,352	45,481	44,356	42,094
		流域下水道維持管理負担金 ⑦	77,559	77,290	86,145	95,336	99,768
	小 計 ⑧		129,971	127,982	143,873	149,720	151,497
資本費	減価償却費 ⑨	0	0	0	0	0	
	地方債元金償還費 ⑩	219,310	242,060	179,121	176,560	169,870	
	地方債利子償還費 ⑪	26,930	1,819	10,413	9,886	9,348	
	小 計 ⑫	246,240	243,879	189,534	186,446	179,218	
合 計 ⑬		376,211	371,861	333,407	336,166	330,715	

使用料収入と使用料対象経費の差引

(単位:千円)

使用料収入 - 使用料対象経費 : ②-⑬	Δ 199,042	Δ 189,345	Δ 117,235	Δ 104,398	Δ 96,412
-----------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------

使用料単価・汚水処理原価・経費回収率の推移

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (見込)
使用料単価 (円/ m^3): ②/①	108.0	108.3	123.8	130.8	133.7
汚水処理原価 (円/ m^3): ⑬/①	229.4	220.6	191.0	189.7	188.8
経費回収率 (%): ②/⑬ * 100	47.1	49.1	64.8	68.9	70.8

※ 「今後の下水道財政の在り方に関する研究会」報告書において、現在の使用料単価では汚水処理原価を回収できない事業にあつては、他公共料金に鑑み20 m^3 /月あたり3,000円(使用料単価150円/ m^3)の水準に引き上げることと示されている。

【平成18年3月 総務省自治財政局地域企業経営企画室】

平成26年度の経費回収率は、使用料収入で使用料対象経費のうち維持管理費を100%、資本費の46%を賄えたことにより70.8%となりました。

経費回収率は年々向上していますが、資本費のうち96,412千円は、一般会計繰入金により補っているのが現状です。

平成 27 年度下水道運営審議会開催スケジュール（案）

回数	開催時期	場 所	備 考
第 1 回	平成 27 年 7 月 28 日（火）	町民センター 2 B クラブ室	
第 2 回	平成 27 年 9 月 30 日（水）	二宮町役場 第 1 会議室	諮問予定
第 3 回	平成 27 年 10 月下旬		
第 4 回	平成 27 年 12 月下旬		
第 5 回	平成 28 年 1 月中旬		
第 6 回	平成 28 年 1 月下旬		